

保証人 各位

謹啓

我が国で新型コロナウイルスによる感染拡大が始まってから3回目の年末年始を迎えようとしています。この間、皆様には新型コロナウイルスの感染防止対策に全面的にご協力いただいていることに改めて心より感謝申し上げます。

先ずは、12月に入ってから新規感染者数の高止まりが続いていることを踏まえて、各種規制については当分の間、現状通りとし面会は週2回、1回につき原則2名、1時間以内とさせていただきます。

今回はコロナ収束が未だ見通せない中、当院でのこれまでの感染者数と感染対策の考え方などについてお伝えさせていただきたく存じます。

1. 当院での感染者数とその対応

我が国で新型コロナウイルスの感染が初めて確認されたのが2020年1月、その後2021年末に感染力が従来株の2倍以上と云われるオミクロン株が出現、2022年7月28日には東京都の1日の新規感染者数が4万人を超えるなどの第7波を経て、現在の第8波を迎えています。

そんな中、今日までの当院での新型コロナウイルス感染者数は下記の通りです。

	<u>患者様</u>	<u>職員</u>	<u>東京都 (参考)</u>
2020年	1人	6人	60,312人
2021年	0人	2人	322,748人
2022年	12人	98人	3,343,169人(12月15日時点)

感染された患者様にはコロナ病棟のある病院に転院いただき、回復後に当院にお戻りいただきました。また、患者様が感染者と接触した可能性がある場合にはコロナ検査に協力いただき、ご家族様には面会を控えていただくなど感染拡大防止にご協力いただいております。

感染力が極めて強く、感染しても無症状の期間がありその間に感染を広める可能性があるコロナの特殊性を鑑み、今後も患者様が感染する可能性は十分あることはご承知おきいただきたく存じます。

また、職員の感染では先ず同居家族が感染し、職員が濃厚接触者となり自宅待機している間に感染する事例が多くなっています。このような場合、患者様は濃厚接触者に当たらないため検査や隔離は行いませんが、同時期に複数の職員が勤

務に就けない場合には、大変不本意ではありますが一時的に患者様ケアの一部を変更、削減せざるを得ないといった事態が生じることもご承知おき下さい。

2. 当院の感染対策の考え方

ワクチンの開発とその接種は進んでいますが、有効な治療薬がない中、今以て感染対策の中心は院内へのウイルス持ち込みリスクを如何にコントロールするか
に尽きるかと思えます。

当院でも緊急事態宣言下の2020年4月と第7波ピークの2022年8月に面会を原則禁止とさせていただきます。持ち込みリスクの軽減は面会禁止を含む面会制限を厳しくすればある程度は可能であり、感染防止という名目で実施する面会禁止は、病院経営者にとって院内でクラスターが発生した際の対応の甘さが糾弾される事態を避けるための自衛策として魅力的です。

しかしながら、人生の最晩年あるいは終末期においては、面会をはじめとして患者様とご家族様が一緒に過ごす時間こそが、患者様の生きる活力そのものであり、ご家族様にとっても悔いを残さないための貴重な時間となることを改めて痛感しております。

これからも当院は患者様にとって居心地のよい「生活の場」とすると同時に、ご家族様には少しでも多くの機会に面会いただける場所でありたいとの方針で運営していきたいと考えています。この方針に沿ってコロナ禍においても感染リスクがある程度高まることは覚悟のうえで、面会やパーティー等は感染対策にご協力いただくことを前提として出来る限り承る所存です。

当院の稼働ベッド数がコロナ禍の影響もあり、以前のレベルまでなかなか回復しない中、ロシアによるウクライナ侵攻を契機とした食料品やガソリンを始めとした諸物価の高騰も加わって病院経営も厳しい状況にあります。新しい年も患者様の安全と豊かな日々の実現に努めて参りますので、皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

謹白

2022年12月21日
医療法人社団慶成会
よみうりランド慶友病院
会長 大塚 宣夫